



Sound Server 取扱説明書



この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保存し必要なときにお読みください

安全上のご注意








- ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので必ずお守り下さい。
- ◆次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、 死亡または重傷などを負う可能性 が想定される内容です
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、 傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生 が想定される内容です





- ◆次の絵表示の区分はお守りいただく内容を示しています。

 禁止	このような絵表示は、してはいけない「 禁止 」内容です。
 強制	このような絵表示は、必ず実行していただく「 強制 」内容です。

警告

-  **分解、改造をしない**
火災、感電、故障の原因になります。
-  **金属類を差し込まない**
隙間などから金属類を差し込んだりしないで下さい。火災、感電、故障の原因になります。
-  **濡らさない**
水などの液体が入ると発熱、火災、感電、故障の原因になります。
-  **ACコンセントは確実に差し込む**
コンセントの差込が不完全だと発熱、火災、感電の原因になります。
-  **コネクターは確実に差し込む**
コネクターの差込、締め付けが不完全だと発熱、火災、感電の原因になります。
-  **ACコードを傷つけない**
コードを無理に曲げたり、加工したり、引っ張ったり、重い物を乗せたりしないで下さい
-  **異常が起きたときは**
万一、発煙、異臭、異常音などがあつた時は直ちにACコンセントを抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因になります。

注意

-  **煙や湯気が当たる場所に置かない**
火災、感電、故障の原因になります。
-  **湿気やほこりの多い場所に置かない**
火災、感電、故障の原因になります。
-  **不安定な場所や振動の多い場所に置かない**
落ちたり、倒れたりするとけが、故障の原因になります。
-  **ACコンセントから抜くときはプラグをもって抜く**
コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電、故障の原因になります。

概要

本機は、SDカードに記録されているMP3形式の音楽ファイルを、DMX信号、接点入力、RS232-C制御により再生する機器です。
DMX信号から制御する場合は再生だけでなくリピート回数や音量をコントロールすることも可能です。

設置について

本機の設置にあたっては以下の注意を守って下さい。

- 直射日光の当たる場所、周囲温度・湿度の高い場所、ほこりの多い場所での使用は避けて下さい
- 電源は定格以内で、変動やノイズの少ない物を使用して下さい。また調光ユニットの出力は絶対に使用しないで下さい。

ご注意

本製品で使用するMP3ファイルはお客様に御用意していただく必要があります。
一般的に販売されている音楽CD等は全て著作権によってその権利が保護されており、著作者の許諾無しに販売・頒布・配布などを行うことは禁止されております。
御使用の際には、十分ご配慮頂きますようお願い致します。
なお、当方では著作権等使用楽曲についての問題には一切責任を負いませんので予め御了承下さい。

SDカードは、マルチメディアカード(MMC)と電気的な互換性を持たせたメモリーカードです。
SDカードは、制御する方式としてSD/MMCモードとSPIモードの2種類があります。
本機は、音楽再生やSDカードへのアクセスはすべてSPIモードで行っています。
SDカードの使用ライセンスは、SD Card Association(<http://www.sdcard.org/>)が管理しています。
しかしこれは、暗号化技術や著作権保護技術であるCPRMを用いた場合にのみ発生することであり、SPIモードのみで動作する場合には、ライセンスの問題には抵触しません。

対応SDカードと対応ファイルシステム

最小64MB～最大4GB(32GまでのSDHC対応予定)までのノーマルスピードタイプのSDカード及びMMCが装着できます。ハイスピードタイプのSDカードでは、転送速度の問題から相性問題が発生しやすくなります。ご使用に際してはできる限りノーマルスピードタイプのSDカードをご選定ください。本機で対応するファイルシステムは、Windows標準のFAT16及びFAT32です。

但し、SDカードのパフォーマンスをフルに発揮させるため、使用に際してはSDフォーマットを使用されることをお奨めしています。

SDフォーマットを行うためには、専用のSDフォーマッタというソフトウェアがあり、パナソニック株式会社様のサイトから無償で配布されています。下記サイトからダウンロードしてご使用ください。

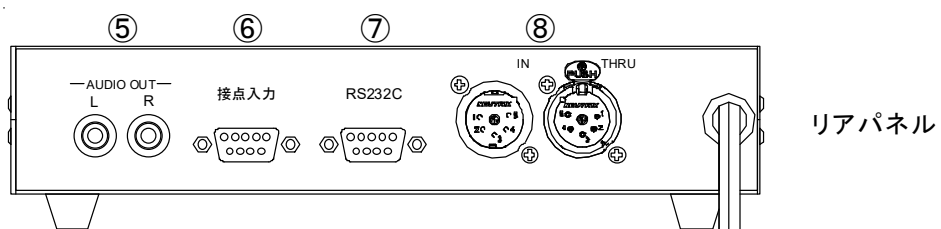
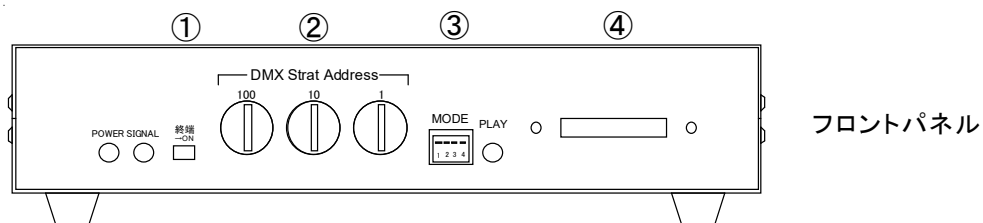
<https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/>

SDフォーマットをしたカードは通常のパソコンで読み書き可能です。

- 1 SDカードをSDカードリーダーライターにセットします。
- 2 上記のSDフォーマッタを起動します。
- 3 “オプション設定”をクリックして“論理サイズ調整”の設定を“ON”に設定します。
- 4 “Drive”のプルダウンでSDカードの挿入されているドライブが選択されていることを確認して、“フォーマット”ボタンをクリックします。

操作説明

1.各部の名称



- ①DMX終端スイッチ
- ②DMXスタートアドレス設定用ダイヤルスイッチ
- ③MODE設定用ディップスイッチ
- ④SDカード挿入口
- ⑤AUDIO OUT用RCAピンコネクター
- ⑥接点入力用D-subメスコネクター
- ⑦RS232-C制御用D-subオスコネクター
- ⑧DMX信号キャノンコネクター

2.準備

2-1.SDカード

付属以外にご用意される場合は最小64MB～最大4GB(32GまでのSDHC対応予定)までのノーマルスピードタイプのSDカード及びMMCをご用意下さい。

■SDカードの相性問題について

SDカードは、統一された規格の元でその規格に準拠して製造されていますが、使用されているメモリーチップや内蔵されているICの種類等によってその電気的特性やタイミング特性にばらつきが生じています。これはSDカードのメーカーによってや、同一メーカーの製品でも型式やロットによっても異なっていることがあります。それぞれの製品は規格内で動作しているのですが、規格にはある程度の範囲があるため、その範囲内でのずれが重なると、結果的に規格から外れたり、様々な動作上の支障となることがあります。これは一般的に相性と呼ばれるもので、汎用的な製品では避けることのできない現象であります。

本機では汎用的なSDカードに広く対応できるよう設計されていますが、数は少ないものの場合によって相性問題が発生し、使用できないSDカードや極端にパフォーマンスが悪くなるSDカードがある場合があります。

2-2.サウンドデータ

本機で再生する事が可能なサウンドデータは、下記の仕様です。

・ファイル形式 MP3形式

- ・MPEG1 audio layer 3
- ・MPEG2及び2.5拡張形式にも対応
- ・固定ビットレート最大 48KHzサンプリング、ビットレート192kbpsのファイル
- ・可変ビットレート最大 48KHzサンプリング、ビットレート320kbpsのファイル

・ファイル名 001.mp3,002.mp3～255.mp3

※本機では扱えるファイル名は001.mp3などの番号でのファイル名のみです。

各ファイル番号が呼び出す際の番号になります。カード内のファイル名は連番で無くてもかまいませんがファイル名の番号が呼び出す際のレベルになります。必要に応じてリネームしてください。保存する場所はSDカードのルートディレクトリーに限ります。

2-3.モード

③のMODEスイッチ1,2でDMXからの呼び出しを設定することが出来ます

・ディップスイッチ1

OFF 1chモード

チャンネルのレベルに応じて音の呼び出しを行います。

再生回数は1回、音量は最大で固定です。

ON 4chモード

- ・ch1 リピート回数 DMX0,1で1回再生、レベルに応じて254回まで。
255でエンドレスループ再生します。
- ・ch2 操作ボタン DMX117～137でPAUSE、DMX235～255でSTOPします。
PAUSEの解除は再度DMX117～137のレベルを送ります。
- ・ch3 音選択 DMXレベルに応じて1～255で最大255曲まで選択出来ます
- ・ch4 音量 DMX0(最小)～DMX255(最大)

注：リピート回数の設定は音の呼び出しを行った時に同時にセットされます。

音が呼び出された後に変更しても変化しません。

またDMXのタイミングによってはリピート回数が前のデータでセットさえる場合があります。

回数をセットする場合は音を呼び出すタイミングより前にリピート回数のレベルを設定しておくことより確実です。

・ディップスイッチ2 呼び出しモード

OFF 255曲モード

DMXレベル1～255に応じて001.MP3から255.MP3までのファイルを読み出します。

ON 9曲モード

DMXレベルを%で呼び出します。

0%～9% 呼び出し無し

10%～19% 001.mp3

20%～29% 002.mp3

| |

80%～89% 008.mp3

90%～100% 009.mp3

モード変更後は電源を入れ直してください。

3.電源投入

- 1)すべての接続が終了したら、電源を差し込んで下さい。
- 2)電源が入るとPOWERの赤LEDが点灯します。

4.チャンネル設定

- 1)DMX信号のスタートチャンネルをダイヤルで設定します。なおチャンネル設定ダイヤルの左側のON/OFFスイッチは終端のスイッチです。DMX信号が本機で終わりの場合はONに他の機器に渡り配線する場合はOFFに設定して下さい。
- 2)DMX信号が正常にすればSIGNALの緑LEDが早い点滅をします。なお、このLEDがゆっくり点滅した場合はチャンネル設定が間違っている場合です。(スタートCH設定が0または513以上に設定されたとき)正しく設定し直して下さい。

5.呼び出し

・DMX信号

④のアドレススイッチで設定したチャンネルでDMXから呼び出しが行えます。

・RS232-C信号

RS232-Cからは音の選択のみ行えます。

コマンドを受信するとすぐに実行します

仕様: ボーレート:9600bps ストップビット:1 パリティ:無し

書式: コマンド + [プログラムナンバー1～64] + **CR**

pin番号 2:TX 3:RX 5:GND

コマンド	送出
再生	P n CR
STOP	S CR

nはプログラムナンバー

例: 1番を呼び出す場合は P1 **CR**
32番を呼び出す場合は P32 **CR**

※RS232-Cシリアル信号では、ファイル番号064.MP3まで呼び出すことができます。

・接点信号

8個の接点入力を備えており、曲番号の001～008を読み出す事が出来ます。

7.仕様

入力 DMX入力 (ノットリックXLRタイプ 5 P オス) RS232-Cシリアル信号入力 (D-sub9Pオス) 接点入力 (D-sub9Pメス)	 DMX512 音の選択 ボーレート 9600bps パリティ 無し ストップビット 1 pin番号 2:TX 3:RX 5:GND 8接点 (Pin1~8 =入力1~8、Pin9:COM)
出力 DMXスルー出力 (ノットリックXLRタイプ 5 P メス) RCAピンジャック(L,R)	 DMX512 記録音源再生
電源 寸法 動作温度、湿度	AC90~240V 50/60Hz 5W W:213 H:42 D:134 (突起部除く) 0°C~50°C、10%~85% (結露無し)

本製品及び本書の内容は予告なしに変更される事がありますのでご了承下さい

(本書製作日2020年11月6日)